



園だより

みなみ 1がつ

令和8年 1月5日
目黒区立南保育園園長

あけましておめでとうございます。



先月5歳児クラスの子どもたちは近隣の保育園の子どもたちと、発表会で保護者の方に観ていただいた劇の見せ合いっこをしたり、ドッチボールなどを通して交流会を行いました。劇を見せ合いっこするのははじめてのことだったのですが、相手の園の劇を観て「うわーすごい。1000点満点だよ」とかなりの高得点をつけていました。ドッチボールでは、自園だけのときには見られない真剣な表情で作戦会議をする姿がありました。関わりの場が広がっていくことで芽生える感情や発揮される力が育まれていきます。

関わりを広げ育まれる感情や取り組もうとする姿に、心を寄せ、大きくなることへの期待を膨らませてあげたいと思います。子どもたちが毎日わくわく楽しみに登園し、やりたい思いが叶えられる保育園を目指します。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

行事予定



5歳児クラス懇談会

新年子ども会

3歳児クラス懇談会

4歳児クラス懇談会

2歳児クラス懇談会

身体測定、避難訓練（全園児）

2月の懇談会の予定

0歳児クラス

1歳児クラス



子どものつぶやき

3歳児クラス

重ねたタイヤをお家にして、カブトムシごっこをしていた時のこと。

子ども「いまからサナギになるんだよ」

保育士「どのくらいサナギになってるの？」

子ども「うーん、30ぶんくらいしたらおきるから」

おにぎりパーティー

秋に収穫したとんぼ組のお米（以後とんぼ米）をおにぎりにして味わいました。精米機で白米になる様子を見たり、みんなで順に米をといだりし、午睡後に目の前で炊いてもらいました。ガラス鍋なのでお米がご飯になる様子を見ることができます。普段見えない炊飯器の中が分かり、「ぶくぶくし始めた」「水がなくなった」「お米の中に入ったからだよ」と子どもたちは興味津々で観察していました。最後の蒸らしを終え、鍋蓋を取るとつやつやのとんぼ米ご飯が姿を現し、「うわー」と歓声を上げながら香りを手繰り寄せていました。炊き立てとんぼ米をラップによそってもらい、子どもたちは自分でおにぎりにして食べました。期待いっぱいの表情をしながら好きな形にし、まずは何もつけずに一口食べると「おいしい」「さいこうだね」とすぐに笑顔が溢れます。次は塩をつけたりそのまま何もつけなかったり、あっという間に食べてしまいました。次にいつも保育園で食べている胚芽米ご飯をおにぎりにしてとんぼ米と食べ比べをしました。「どっちがおいしい」と聞くと「とんぼ米」と皆即答でした。新米、炊き立てなうえ、手間暇かけて皆で作業に携わった分おいしさも増したことでしょう。

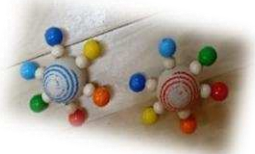
米一粒がご飯として食べられるまでの過程を体験し、食べるものには人の手間と時間がかかっているありがたさを感じたきっかけの一つになるといいです。





お正月遊びを紹介します

てんとうむし組



みつばち組



保育園では、お正月遊びを楽しんでいます。

今回はお正月遊びの中からこま遊びの様子を紹介させていただきます。

クラスごとに子どもたちの発達に合わせた回しやすいこまを用意しています。てんとうむし組では握って回せるこまを使って遊びます。同じ手回しこまでも、みつばち組では手のひらで棒をこするようにして回すこまを使い、でんでんむし組では指先でつまんで回せるこまなどを用意し、手先の発達に合わせた楽しみ方で遊んでいます。

でんでんむし組



こおろぎ組

とんぼ組



こまに紐を巻くタイプ(ひっぱりごま)と手回しごまを出しています。こまに紐を巻くのは手指の細かい操作や目で見て手を思いどおりに動かせる力が必要です。4歳児クラスではなかなか難しく、真剣な表情でゆっくりと巻いている姿があります。また、保育士と一緒に紐を巻き、ひっぱりごまをこま台に乗せると「回った」と大喜びです。引っ張る力が弱いとこまが回らないのですが、回したい気持ちから「もう一回やってみる」と意欲も湧いています。手回しごまも傘を上にして回す技を練習し、成功すると「逆さごま、できた」と喜び、友達や保育士から「すごいね」「やったね」と褒めてもらえると、さらにできた自信も感じています。